

授業科目 社会福祉学特論IV (貧困・生活困窮者対策 特論)	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 後期開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> ・不可
科目責任者	権 順浩		
担当者	権 順浩		
1. 科目のねらい・目標 本講義の目的は、社会福祉学分野における貧困・生活困窮者対策の実態と研究動向について学ぶことである。貧困問題の解決は社会福祉の原点であり、古くて新しい課題といえる。また、今日の貧困問題は多様化しており、解決法にも総合的な視点が必要となっている。最終的には受講者が関心のある分野の先行研究を分析し、研究課題を設定できるようにする。			
2. 授業計画・内容 第1回 貧困・生活困窮者対策をめぐる今日の動向 第2回 貧困問題と社会福祉の関係 第3回 戦前日本の貧困問題 第4回 戦後日本(1945年～1955年)の貧困問題 第5回 戦後日本(1955年～1973年)の貧困問題 第6回 戦後日本(1973年～1990年)の貧困問題 第7回 今日の日本(1990年以降)における貧困問題 第8回 貧困問題と最低賃金 第9回 貧困問題と就労支援制度 第10回 貧困問題とセーフティネット 第11回 貧困問題と生活困窮者自立支援制度 第12回 貧困問題と低所得者対策 第13回 貧困問題と生活保護制度 第14回 貧困問題と社会福祉研究 第15回 貧困・生活困窮者対策に関する先行研究の分析			
3. 教科書、参考書			
受講者と相談した上で決定する。			
4. 成績評価方法 講義での報告と討議 50% 最終レポート 50%			
5. 受講要件 特になし。			
6. 社会人学生に対する配慮 受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。			
7. その他 特になし。			